

み

ぶ

り

ん

だより

2017 年 6 月号 Vol.34

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間
火～金 10 時～18 時 月曜日・年末・年始
土・日・祝 10 時～17 時 (火～金は予約をして頂ければ 21 時まで利用可能です)

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内) HP URL
電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp
<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月
みぶりんだより(カラー版 PDF)をメールでお送りします。



野の花とキンラン・ギンランなどを 探す会 実施

植物案内／山崎治行 氏

4 月 8 日、春の自然の中を歩いてみようと「野の花とスミレを探す会」に参加しました。

保健福祉センター付近の雑木林、農道、集落を歩きました。「セイヨウタンポポ」「ニホンタンポポ」の見分け方、似通った葉でも別名があることなどを教えて頂きました。

そして春の花と言えばスミレ。「コスミレ」「エイザンスミレ」「タチツボスミレ」等々、名前を覚えられない程、たくさんの種類がありました。

車塚古墳にも足を運び、昔は壬生でも多く見られた「アマナ」「ニッコウキスゲ」などを見て、貴重な植物になりつつあることを教えて頂きました。踏まれないよう立看板や柵などの対策をして保存できたら、と思います。

楽しかったので、5 月 3 日、「キンラン・ギンランなどの絶滅危惧種を探す会」にも参加しました。

この日は、獨協医大周辺で絶滅危惧種の「キンラン」が 1 株、「ギンラン」が数株ありました。環境悪化が進む中、健気に咲いている花を見ると、生育環境を整えて、もっと増えたら良いなあと思います。

その他、「クチナシグサ」「ハハコグサ」「フデリンドウ」などがあり、雑草にも素敵な名前があるなあと感じました。

また、山崎さんの説明を受けながら、夏、秋の自然の草花を探す機会があることを楽しみにしています。

(参加者 鈴木 節子様 記)

～野生植物観察会～ 次回のお知らせ

◆ 6 月 16 日(金) 午前 9 時～12 時

(8 時 50 分集合、9 時出発)

集合場所：羽生田ふれあいプール北運動場駐車場

集合場所から 4～5 km のコースを野生植物を観察しながら歩きます。

参加費無料。飲物などは各自ご持参ください。

※雨天中止。

参加される方は 6 / 13 (火) までにみぶりんまでお申し込みください。

(参加人数によっては中止になる場合があります)

◆ 8 月 1 日(火) 午前 9 時～午後 4 時 《みぶりん主催》

(保健福祉センター 8 時 30 分集合、9 時出発)

場所：戦場ヶ原～光徳牧場 (町のバスを利用)

※詳細は「広報みぶ 7 月号」をご覧ください。



「キンラン」



獨協近くで



恵川沿いで



車塚古墳で「アマナ」

活動報告

「日本三体縄解地蔵尊例祭」東下台自治会

東下台自治会（長 利男 会長）で、4月22日に駅東町にある「縄解地蔵尊例祭」が行われました。「縄解地蔵尊」は、京都洛西の壬生寺「縄目地蔵菩薩」、三重県名張市の「延命地蔵菩薩」とともに、日本三体地蔵尊の一つに数えられています。祭当日は、参道等に多くの屋台が出店しているほか輪投げ、的当て等もあり、早朝から子供たちや家族連れが祭りを楽しんでいました。

(取材担当 条川)



「民話の世界へようこそ」壬生民話ふくべの会

4月22日、「壬生民話ふくべの会」では、第三回「民話の世界へようこそ」を、南犬飼地区公民館にて開催しました。

満員の来場者であふれる会場では、九人の語り手たちにより、「不思議、郷愁、笑い、奇想天外、生命の力、愛」といった、個性豊かな民話が語られました。それぞれの語り手の民話は、皆どれも素晴らしく来場者はあつという間に民話の世界へ誘い込まれました。

中休みの時間には「昔ながらの手遊び」「わらべうた」なども行われ、来場者も一緒に手遊びに歌にと、楽しいひとときを過ごしました。あつという間に二時間が過ぎ、語り手の民話の世界が来場者の皆さん的心に届いたことと思います。

(取材担当 小田垣)



活動報告

小学2年生が初参加で賑やかに 美水会

5月13日、「美水会」で、「小規模特別養護老人ホームみぶ例幣使」を訪れ、日頃、公民館等で行っている民謡の練習成果を披露しました。

当日は、悪天候ではありましたが、「愛祥会」の方々にも踊りのお手伝いをいただきながら、多くの利用者の方々と唄や踊りで楽しい時間を過ごしました。

栃木県の民謡を中心に、5月にちなんだ「こいのぼり」や「ぼけます小唄」を披露すると、なんとアンコールまでかかる盛況ぶりでした。

初めて参加した睦小学校2年生の小倉杏優ちゃんは「緊張したけれど、温かい拍手をもらって楽しめた」、同じく初参加の飯塚晴斗(息子)は「また唄いに来たい」と明るく話していました。(会員 飯塚晴斗くんのお母様:美砂さん 記)



普通救命講習会・通報訓練 城内自主防災会

5月14日、城内自主防災会（荒川 克己会長）で、壬生消防署の職員による普通救命講習会と通報訓練が行われました。

普通救命講習会では、心臓マッサージと人工呼吸による心肺蘇生法、AED の取り扱い方などを、人形を使って実践に則した方法で教わりました。

通報訓練は火事と救急の場合を想定して行われましたが、要点を的確に伝えるにはどうしたら良いかを実技により具体的に学びました。

最後に、壬生消防署から参加者全員に「普通救命講習修了証」が交付されました。

(取材担当 鈴木)



活動報告

原宿研修センター 看板完成

このほど、原宿自治会（黒川修一会長）の研修センターに看板が掲げられました。

写真右の「原宿研修センター」の看板は、みぶりん登録の「落合英行氏」が、左の「風神社社務所」の看板は、雄琴神社宮司の「黒川正邦氏」が、いずれもボランティアで作製したものです。両方とも木板で重厚に仕上がっています。

お二方とも、立派な看板を作っていただき、ありがとうございました。

(取材担当 鈴木)



黒川 修一 会長

新規登録団体・個人(4/21~5/20)

みぶりんでは、団体・個人の登録を随時受け付けています。

登録No.	名称	活動内容
団体223	ていーだ太鼓	宇都宮大学のサークル。沖縄の伝統芸能、創作エイサーを踊ります。各種イベント参加。
団体224	みぶっ子まちなかストリート実行委員会	小中学生が将来の町づくりの担い手として活躍できるよう大人達が応援します。

お知らせ



アウトドアに学ぶ防災



～キャンプに参加して「災害時の避難生活を疑似体験する」～

- ◆日時 8/26(土)午後1時～8/27(日)午前11時解散 ◆場所 おもちゃのまち ゆうゆ館(厚生会館)
 ◆参加費 中学生以下500円 大人1,000円(保険代を含む) ◆対象者 壬生町民(小学生以下は保護者同伴)
 ◆主催 みぶアクティブラブ ◆協力 おもちゃのまち地区 防災士楠・武井
 ※詳細は、次号みぶりんだよりでお知らせします。

楽しい
民話の会

テーマ 民話って何だろう

～あの話この話を聞いて民話の世界を探ってみよう～
 下記の予定で勉強会を開きます。

参加費無料▶事前申込みも必要ありません。

当日、時間内にぶらりとお立寄り下さい。

- ◆第1回 6/28(水)午後1時半～3時
 会場：南犬飼地区公民館2階 小会議室

稻葉地区に伝わる伝説「親抱きの松」「かんぴょうを植えない村」をテーマに歴史的な背景も探ります。

- ◆第2回 7/26(水)午前10時～12時

会場：東下台地区公民館

東下台地区に伝わる伝説「縄解き地蔵」をテーマに東下台育成会の皆さんと一緒に、縄解き地蔵を訪ね地元の方からお話を聴きます。

- ◆第3回 9/27(水)午後1時半～3時

会場：南犬飼地区公民館2階 小会議室

～心に残る昔話を聞いて～

民話の会員の語りを聞いて、昔話という伝承文芸の素晴らしさを学びましょう。

- ◆第4回 10/25(水)午後1時半～3時

会場：南犬飼地区公民館2階 小会議室

～民話いろいろ～

民話には伝説・世間話・滑稽な話・怖い話・昔話等があります。それぞれのお話の特徴を学びましょう。

連絡先▶壬生民話ふくべの会 飯村英子

☎0282-82-7959

今村 彩子氏 講演会

壁を作っているのは、本当は誰だろう？
 ~映画制作を通して考えたこと~

- ◆日 時 7/16(日)
 午後1:00開場 午後1:30開演
 (手話通訳あり)
 ◆会 場 栃木市都賀文化会館(ハートホール)
 ◆参加費 500円(当日集金します)
 高校生以下無料
 ◆主 催 栃木市聴覚障害者協会
 栃木地区手話サークル
 栃木県手話通訳問題研究会栃木地域班
 ◆問合せ先
 中村 正年 FAX 0282-28-0257
 山上 泰子 TEL・FAX 0282-82-7133
 ※詳細はみぶりんホームページをご覧ください。

★ボランティアの募集、イベント・講座のお知らせ、自団体の活動紹介、報告など「みぶりんだより」に載せて欲しい内容がございましたら、ぜひお寄せ下さい。

☆みぶりんだよりは下記のところに置いています☆

みぶりん・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・各小中学校・壬生高校

【編集後記】■庭先の木に小さなサクランボが真赤に実り、それを目当てに毎日多くの野鳥が訪れています。少しは家族の分も残して欲しいものです。(糸川) ■花壇植え替えの季節です。来月号では、町内に4つある「花のまちづくりボランティア」の花壇の記事を載せる予定です。(鈴木) ■ゴールデンウィークに池袋サンシャインシティにある「ナンジャタウン」へ行ってきました。子どもたちと探偵团になりタウン内を歩き回り、楽しく過ごしました。(小田垣) ■突然暑くなったことに驚いています。夏が先取りされましたが、梅雨はくるのでしょうか…。(坂本)